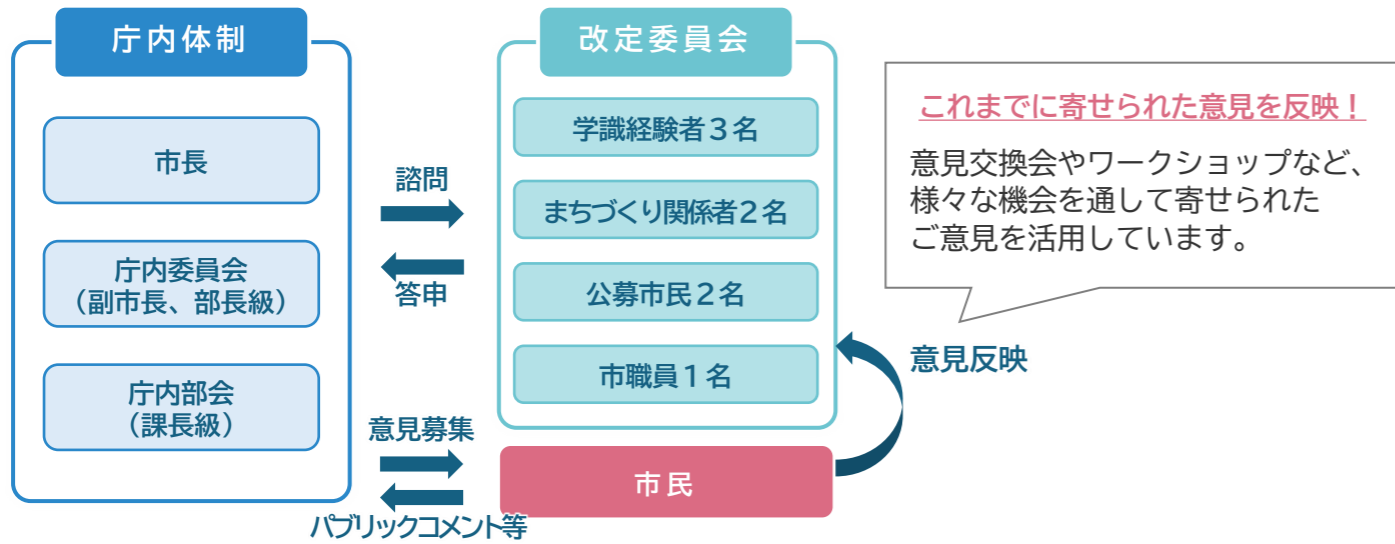


# 改定に向けた検討体制

※諮問機関である改定委員会の答申を受け、改定します。



## 三鷹駅北口街づくりビジョン改定委員会(第1~3回)を開催

**第1回**  
令和7年7月16日(水)  
子ども協会会議室

【主な議題】

- 改定基本方針の確認
- 諮問内容の共有
- 現行計画の進捗状況
- 現状分析、今後の分析項目の確認
- 饗庭委員長講演 (土地利用・都市計画)

**第2回**  
令和7年10月23日(木)  
かたらいの道市民スペース

【主な議題】

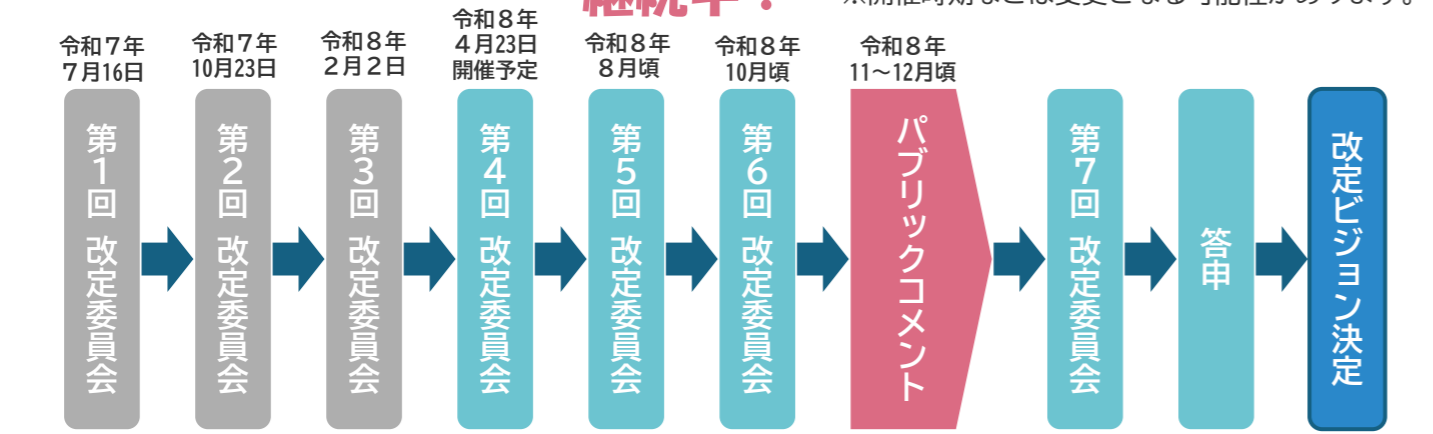
- 目指すべき街の姿と計画対象範囲
- 土地利用の方向性
- 文化・地域資源の活用、質の高い緑の創出
- 大沢副委員長講演 (交通環境)

**第3回**  
令和8年2月2日(月)  
かたらいの道市民スペース

【主な議題】

- 交通環境の方向性
- 交通環境に関する検討項目
- 田口委員講演 (にぎわい)

### 今後の進め方



改定委員会の資料は市のホームページでご覧いただけます。



<https://ourl.jp/M8b7G>

**<問い合わせ>**  
都市整備部 まちづくり推進課  
〒180-8777 東京都武蔵野市緑町2-2-28  
武蔵野市役所東棟4階  
電話 0422-60-1872  
FAX 0422-51-9250

# 三鷹駅北口街づくりニュース 第10号

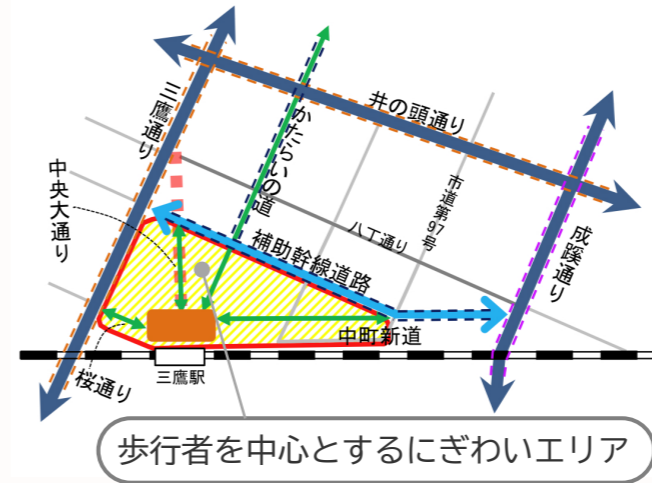
## 「三鷹駅北口街づくりビジョン」改定作業を進めています

「三鷹駅北口街づくりビジョン」は、三鷹駅北口における街の方向性や目指すべき姿を描き、実現に向けた取組みを示す計画です。補助幹線道路の全区間相互通行（車道）により、三鷹駅北口の交通環境は変化の時期を迎えようとしています。これまでの取組みを評価し、皆さんから頂いた意見を踏まえ「三鷹駅北口街づくりビジョン改定委員会」にて改定作業を進めています。

**改定委員会にてこんなことを議論しています！**

### 目指すべき街の姿

**住む人、働く人が集い、心地よく過ごす街**  
～住む人、働く人が共に過ごす街として、将来にわたって活力を維持する持続可能な街を目指す～



【三鷹駅北口の印象について】

- ✓ 子育て世代に人気がある。
- ✓ ランチする場所が少ない、便利なお店が減っている。
- ✓ 三鷹駅北口は、駅を出てすぐバスロータリーがあり、駅周辺での滞在時間が短い。

### <改定委員会での街歩き、視察の様子>



三鷹駅北口周辺を街歩き

事例視察（下北沢駅周辺）

【街の捉え方について】

- ✓ 駅前の捉え方は、人々がどの方面から来るか、過ごし方や活動によって濃淡がある。



# 街づくりの方向性

## 土地利用 企業と周辺住宅が調和する街

- 住環境や働く環境を維持し、緑が連続した質の高い都市空間を目指す。
- 補助幹線道路の整備を契機とし、以南の区域において駅前周辺にふさわしい都市機能の誘導と統一感のある街並みを目指す。
- 駅周辺の市有地は、駐輪場機能を維持したうえで、地域活動や災害時などの拠点、将来の可変性や柔軟性を考慮した「にぎわいのあるオープンスペース」を目指す。

- 委員会での主な意見
- ✓ 高い住宅需要があるなかで、危機感をもって商業のあり方や機能更新を検討すべき
  - ✓ 補助幹線道路の開通と、かたらいの道の歩行者専用道路化をどう生かすか
    - ✓ 横河グラウンドがにぎわいの拠点になっている沿道で観戦するシーンもにぎわいのひとつ
  - ✓ 魅力的な個人店の存続が、魅力ある街につながる位置づけや支援制度などを整えるべき

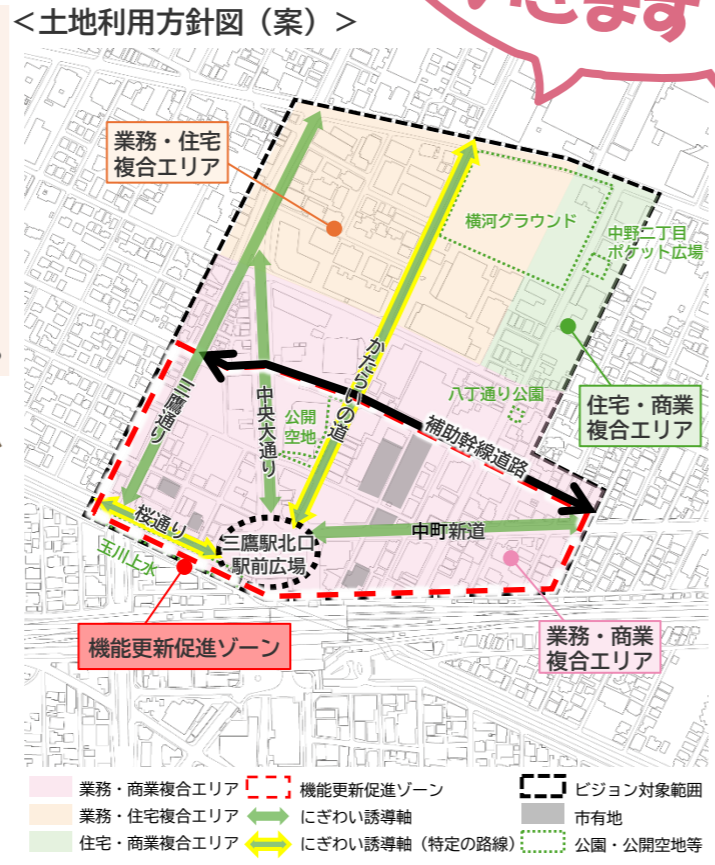
- “誰か”の個別的な小課題を小さな空間を使って解決する ⇒ 課題解決能力の高い駅前広場や駅前地区をつくる
  - 「通路」と「広場」の2つの機能を活用する
  - 空間を作り込みすぎない、余白を大切に、地区に小さな「広場」を埋め込む
- 土地利用の議論のヒント！ 学識委員より

## 緑・にぎわい 緑・水・史跡などの地域資源のもとににぎわいが生まれる街

- 委員会での主な意見
- ✓ 規模の小さい敷地は緑地整備が難しく、街全体で緑をどこまで埋め込めるかが重要
  - ✓ にぎわいと文化の観点を分けて考えた方がよい
  - ※具体的な議論は第4回委員会にて実施予定
  - ✓ 植生のデータがあれば、駅前にふさわしい質の高い緑の検討につながる
  - ✓ 社会実験のような取り組みを繰り返し実施していくと街が変わっていく

- にぎわいの捉え方は人それぞれ「関わりしろ」が増えた結果として、「にぎわい」が生まれる
  - その場所に佇むのも関わり方の一つ 多様な関わりがあることで、場所の豊かさが増す
  - 変わっていくことを前提とした「チューニング」が大事
- にぎわいの議論のヒント！ 学識委員より

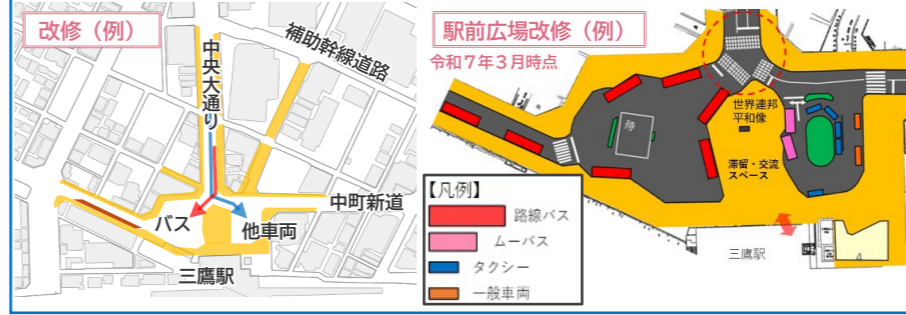
まだまだ検討をかさねていきます！



## 交通環境 人々が集える、安全で快適な歩行者中心の街

- 補助幹線道路の整備を契機に新たな交通体系を構築し、安全で快適に移動できる交通ネットワークを形成する。
- 駅前広場を段階的に改善する。交通体系が変化する段階では社会実験等を通じて検証し、交通結節点機能と滞留機能を併せ持つ質の高い駅前広場づくりを進める。
- かたらいの道などの歩行者軸では、車両との交錯を解消し、地域や路線にふさわしい“関わりしろ”が生まれる空間づくりを進める。
- 沿道での土地利用の際には、路外駐車場や駐輪場の設置などの協力を求める。

### step 1 路線バスと他車両の交錯を改善



- 委員会での主な意見
- ✓ 駅前広場改修案の滞留空間は、限定的。
  - ✓ 平・休日の違いや周辺への広がりも含め、段階的に最適解を見つけることが大事
  - ✓ 東西のバランスから、3ロータリー案もあり得る



- ✓ 自転車は、ルールの厳罰化などが進むなかで、ハードとソフトの両面から考えることが必要
- ✓ 附置義務台数を上回る駐輪場は、その空間をどう活用するか

### step 2 社会実験を踏まえ、安全な歩行者動線の確保へ



- 交通だけでなく、都市、土地利用との関係を考えなければならない
  - 人々の価値観の変化により、都市空間は変化する「量」から「質」へ「自動車中心」から「人中心」へ
  - 待ちたくなる・居たくなる環境をつくる ⇒ 滞留時間が長い = 魅力的な都市空間(滞留することを評価)
- 交通環境の議論のヒント！ 学識委員より

いろいろな考え方や発想が出ています

(注意)改定委員会での議題や委員の意見を報告するものです。引き続き議論を重ねるため、今後、本内容から変更する可能性があります。

